

業務瓦版

2020年 4月13日

第 39 号

JR東海労新幹線地本
業 務 部

「経営協議会」延期

令和2年度『実行計画』について幹事間で説明受ける

「令和2年度 新幹線鉄道事業本部 実行計画」に関する経営協議会は4月10日に開催を予定していましたが、新型コロナウイルスの脅威が広がっている中、国による「緊急事態宣言」が発令されたことなどから延期となりました。代わって同日（4月10日）、幹事間による説明を受けました。

説明を受けたのち、組合側から「本日は質問等を行わない。説明資料を持ち帰り検討する。緊急事態宣言が解除あるいは事態が落ち着いた段階であらためて『経営協議会』を設定することを要請する。また、急を要する事柄があれば申し入れ等を行うので対応されたい。」と伝え、会社側の了解を確認しました。

説明内容は以下の通りです。

令和2年度 新幹線鉄道事業本部 実行計画

東海道新幹線の新時代に向けて新幹線 Spirit を発揮し
更なる連携力強化により一丸となって
日本の大動脈輸送を完遂していこう！

安全・安定輸送の確保を最優先に、のぞみ12本ダイヤを最大限に活用した弾力的な列車設定や、N700Sの継続的かつ着実な投入により、東海道新幹線の新時代の輸送サービスを全系統が一丸となって提供していく。また、自然災害や不測の事態等における異常時対応能力の向上と系統を超えた連携力の強化、設備の維持更新、より一層高いレベルのセキュリティ確保等を、関係会社と一体となり着実に推進する。さらに、ブランドクオリティサービスの更なる進化、訪日外国人対応や異常時におけるお客様案内、特大荷物施策の定着等、お客様に満足いただけるサービスを提供していく。

東海道新幹線の新時代を築きあげるため、系統を超えた連携力強化による業務遂行力の向上と、効率化及び低コスト化による収益力の強化を図る。そして、業務の執行にあたっては、社員一人ひとりが経営理念と新幹線 Spirit に基づき、具体的な行動目標を設定し実践することで、課題の解決に全力で取り組む。

【 重点目標 】

1. 安全・安定輸送の確保に向けた着実な取組み

- (1) 「ルール、基本動作の本質に対する深い理解・実行」と「計画・実施段階での十分なリスク検証・排除」による運転事故の防止および労働災害の根絶
- (2) 激甚化している自然災害や不測の事態等における異常時対応能力の向上と運転整理及び復旧作業の迅速化のための系統を超えた連携力の強化
- (3) 設備の維持更新・各種施策の着実な推進
- (4) より一層高いレベルのセキュリティの確保
- (5) 中央新幹線計画における中央新幹線推進本部との連携

2. お客様に満足いただける輸送サービスの追及

- (1) 「のぞみ 12 本ダイヤ」を活用した弾力的な列車設定及び高品質な輸送サービスの提供
- (2) N700S の継続的かつ着実な投入及び快適で安心感のあるご利用環境の整備
- (3) ブランドクオリティサービスの更なる進化
- (4) 異常時におけるお客様案内の更なる充実
- (5) 英語放送の推進など訪日外国人対応の充実
- (6) 積極的な営業施策の推進
- (7) 特大荷物施策の定着
- (8) 東京オリンピック・パラリンピックに向けた取組みの推進
- (9) 将来のあるべき輸送サービスに向けた技術開発の推進

3. 業務の遂行能力の向上と効率化及び低コスト化の推進

- (1) 業務の見直しと業務遂行力の向上
- (2) 効率化及び低コスト化の推進
- (3) 連携力の強化
- (4) 電気関係組織再編の完遂

4. 社員の意識・意欲の向上と技術力の強化

- (1) 新時代に向けた高い規律・規範意識の実践と意欲の向上
- (2) 安全最優先文化の更なる醸成・人材育成
- (3) より高度な技術力習得と異常時対応能力の向上

5. 健全で良好な労使関係の一層の充実

【 重点目標詳細 】

1. 安全・安定輸送の確保に向けた着実な取組み

- (1) 「ルール、基本動作の本質に対する深い理解・実行」と「計画・実施段階での十分なリスク検証・排除」による運転事故の防止および労働災害の根絶
 - ・関係会社と一体となった「安全のための本質を探究する運動」「命を守るルールの遵守徹底」の推進

- ・日々の作業におけるルールの本質理解と更なる絶対感の醸成
- ・ヒヤリハットの活用や作業員間の声掛けによる労働災害の未然防止
- ・的確な作業実態把握によるリスクの洗い出しと指導の実施
- ・車両・設備並びに運行管理・運転取扱いに内在する運転事故及び労働災害リスクの十分な検証、対策並びにトレースの実施
- ・組織の隙間に存在するリスクの十分な検証と改善

(2) 激甚化している自然災害や不測の事態等における異常時対応能力の向上と運転整理及び復旧作業の迅速化のための系統を超えた連携力の強化

- ・地震対策(脱線・逸脱防止対策、駅天井脱落対策、駅上家耐震等)の推進
- ・台風、降雨・雪害、浸水対策の推進
- ・自然災害や不測の事態等に対するより厳しい状況を想定した実践的な訓練の継続実施
- ・運転整理及び復旧作業の迅速化のための訓練の実施
- ・異常時対応における系統を超えた連携力の強化

(3) 設備の維持更新・各種施策の着実な推進

- ・大規模改修工事の推進
- ・高速ヘビーシンプル架線化、ATC 更新等の推進
- ・列車無線装置取替、周波数変換装置(FC) 取替の検討推進
- ・設備・構造物の検査・修繕・取替の実施
- ・沿線環境対策の推進

(4) より一層高いレベルのセキュリティの確保

- ・駅、車内及び沿線等におけるより高いレベルのセキュリティ確保
- ・ITV を活用したセキュリティ向上施策の推進
- ・オリンピック・パラリンピックの開催に向けたセキュリティ体制の整備
- ・警察や消防と連携した合同訓練の継続実施

(5) 中央新幹線計画における中央新幹線推進本部との連携

- ・中央新幹線品川駅及び名古屋駅関連工事の着実な推進

2. お客様に満足いただける輸送サービスの追及

(1) 「のぞみ 12 本ダイヤ」を活用した弾力的な列車設定及び高品質な輸送サービスの提供

- ・「のぞみ 12 本ダイヤ」を最大限活用した利便性の高い弾力的な列車設定
- ・安定性を確保した高品質な輸送サービスの提供

(2) N700S の継続的かつ着実な投入及び快適で安心感のあるご利用環境の整備

- ・N700S 製造におけるさらなる品質確保の取組み
- ・N700S 投入に向けた地上設備整備等の着実な実施
- ・N700S 車両を活用した効率的な車両検修体制の確立

- ・既存車両に N700S 新規機能を反映するための改造工事の推進
- ・ホーム可動柵の整備・改良
- ・エスカレーター転倒防止対策の推進
- ・乗降時の旅客転落早期検知の検討

(3) ブランドクオリティサービスの更なる進化

- ・ブランドクオリティサービス運動の新展開（BQS-Premium）を通じた活性化及び NEXT STAGE の更なる推進

(4) 異常時におけるお客様案内の更なる充実

- ・ SNS、駅専用案内システム等を活用した異常時におけるお客様への運行情報提供の適時適切な実施
- ・訓練等を通じた異常時のお客様対応に関する体制整備と実践力向上

(5) 英語放送の推進など訪日外国人対応の充実

- ・駅及び草内における英語放送の充実
- ・係員の英語力向上と外国人への積極的な対応意欲の醸成
- ・駅トイレ設備改良及び駅ホーム上 Wi-Fi 整備の推進

(6) 積極的な営業施策の推進

- ・エクスプレス予約やスマート EX のご利用拡大や観光キャンペーンと連動した営業施策の推進
- ・さわやかウォーキングや新幹線なるほど発見デーの開催

(7) 特大荷物施策の定着

- ・国内外のお客様に対する周知とルール定着に向けた取り組みの推進
- ・利用実態を踏まえた社員によるお客様対応の錬度向上と関係社員との連携
- ・新幹線車両、販売システム等の改修・整備の着実な実施

(8) 東京オリンピック・パラリンピックに向けた取組みの推進

- ・外国からのお客様及び身体の不自由なお客様に対する案内・販売体制の確立
- ・システムを超えた非現業社員による駅対応体制の充実
- ・需要に応じた輸送対策及びセキュリティ対策の実施

(9) 将来のあるべき輸送サービスに向けた技術開発の推進

- ・N700S 確認試験車等を活用した技術開発の推進
- ・雪害による列車の遅れの最小化、車両・地上設備の保守の最適化に資する技術開発の推進

3. 業務の遂行能力の向上と効率化及び低コスト化の推進

(1) 業務の見直しと業務遂行力の向上

- ・ 仕事の見直しによる不要な業務の廃止・簡素化の推進
- ・ 安全の確保を前提とした効果的・効率的な業務体制の検討
- ・ 活発な職場内対話や組織間の連携強化による業務遂行力の向上

(2) 効率化及び低コスト化の推進

- ・ 現業・非現業ともに業務の現状を踏まえて効率化を不断に追求
- ・ 全箇所共通での定期的な取組み及び職場単位での目標設定による組織的・計画的な低コスト化の推進
- ・ ライフサイクルコストの低減を念頭においた設備投資の推進

(3) 連携力の強化

- ・ 「系統や職場を超えて同じ目標に進む意識」を育む文化の醸成

(4) 電気関係組織再編の完遂

- ・ 新体制への着実な移行と新しい業務遂行体制の定着

4. 社員の意識・意欲の向上と技術力の強化

(1) 新時代に向けた高い規律・規範意識の実践と意欲の向上

- ・ 「新幹線 Spirit～Stage Up 新時代～」の取組みを通じた社員個々の能力向上と経営理念の実現
- ・ 不祥事防止マネジメントカの強化

(2) 安全最優先文化の更なる醸成・人材育成

- ・ 安全を最優先とする作業の本質を深く理解させる教育・訓練の実施
- ・ 各階層別に弱点を見定め、これを補強していくための人材育成施策の推進

(3) より高度な技術力習得と異常時対応能力の向上

- ・ 関係会社も含めた、技術の本質を深く理解させる教育の実施
- ・ 関係会社も含めた、実践的な訓練の繰返しによる錬度の向上と即応能力・異常時対応能力の強化
- ・ ベテラン社員から若手社員への着実な技術継承

5. 健全で良好な労使関係の一層の充実

- ・ 「安全」「正確」「快適」「便利」な最高の輸送サービスを提供し続けるための健全で良好な労使関係の一層の充実

*** 私たちJR東海労新幹線地本は、安全で安心して働きやすい労働条件及び職場環境の改善に向けて、今後も会社に申し入れを行い問題解決に向け協議していきます。**